

園長 千原 創

ベテル保育園は、八王子市の北西部、陣馬街道を進んで元八王子地区を抜けた恩方地区の入口辺りに1974年（昭和49年）に開園をしました。

現在の園舎は、1984年（昭和59年）に建設され、その時から定員80名となっています。山に面した斜面にあるため、2階の南側が園庭に接しているという作りとなっています。園舎も築30年を超え老朽化も進み、また設計当時とは時代も変わり使い勝手もよくはないのですが、補修等を行いながら、子どもたちが楽しく、安全に生活できるように努めています。

当園では開園以来、キリスト教精神に基づいた保育を行っています。園名である「ベテル」とは、「神の家」を意味します。一人ひとりの子どもたちは、神さまから頂いたこの世界に一つしかない尊い命であるとの考えから、子どもたちを神様から与えられた神様の子どもとして受けとめます。そうした神さまの子どもたちが、命を与えてくれた神からたくさんのお愛を受けて育ててほしいとの願いから、「神さまのお家」という、園名が付けられました。

保育理念は「心豊かな人格を育てる」という心の豊かさを中心に据え、他者と共に生きる力を育てていくことや、豊かな感性や創造性を育てるように、保育を展開しています。心という見えないものを見つめることの大切さを伝え、愛し・愛されるとい



う目には見えない愛を感じる心を育むことで、自分自身がしっかりと自立・自律して歩むこと、また同時に他者の違いを受入れ、認めつつ、どのように共に生きていくのかという人間としての基礎を築いていければと願っています。

定員もそんなに多くない為に、小さな子どもたちは、小さな集団で、保育園での日中の生活が安心して過ごせるように、保育者と愛着関係を大切にしつつ、ゆったりと生活できるように努めています。たくさん絵本を読み、歌を歌うという基本的な事を大切にしています。3歳児以上の子どもたちは、園の周辺の山や川、畑や様々な虫などの自然の豊かさを活用して活動したり、自然の季節感を感じたりして、毎日いろいろな経験をして過ごしています。そうした自由な遊びと同時に、体操指導を取入れ体育活動を行ったり、音楽・リズム遊びの展開の中で、5歳児クラスでは鼓隊を行ったりもしています。5歳児の子どもたちは午睡をしていないので、その時間に午前の遊びを継続したり、就学に向けての働きなども行っています。

昨年度より、各部屋に炊飯器をおいて、各部屋でご飯を炊いてお昼に食べています。3歳児からは、毎日米とぎも行っています。しっかりと食事をし、思う存分あそび、粘り強く友だちと関わり、健康な心と身体を養い、たくさんの知恵を獲得できる事を目指して、職員も日々張り切っています。